

# 令和8年度施政方針 川田市長が表明

2月26日、川田市長が令和8年八幡市議会第1回定例会で、施政方針演説を行いました。

施政方針は、市政運営の基本的な方向を示すもので、その主な内容を紹介します。  
※当初予算案の主な事業は5～7面に掲載しています。



令和8年度  
施政方針



八幡市長 川田翔子

## ずっと、もっと選ばれるまちづくり

市長就任後2回目の当初予算編成となった令和7年度は、給食費無償化に向けた保護者負担の軽減をはじめ、就学前施設での「おむつ無料おてがる通園」の開始、全国初となるヘアドネーション活動への助成、地域公共交通網の再編検討など様々な事業を展開してまいりました。

また、愛媛県八幡浜市との友好都市協定の締結をはじめ、大阪府泉佐野市との特産品相互取扱協定の締結やふるさと応援寄附金の取組強化、大阪・関西万博に合わせた様々なイベントの実施等を通じ、対外的な本市のPRおよび魅力発信を積極的に行った年でもありました。特に、ふるさと応援寄附金につきましては、ポータルサイトの返礼品掲載点数を

400点規模まで拡充するとともに、プロモーション活動による知名度向上に取り組んだ結果、令和7年12月末現在で寄附金額が4,000万円を突破するなど大きな成果を得ることができました。

さらに、引き続き「まちかどタウンミーティング」を市内各地で開催し、広く市民の皆さまの声を直接伺うとともに、本市の玄関口である石清水八幡宮駅周辺のグランドデザイン策定に向けたワークショップ等を通じ、市民の皆さまや関係団体等との対話を重ねるなど、本市と市民の皆さまが思いを共有し、同じ方向を向いてまちづくりに取り組めるよう、具体的なアクションを起こしてまいりました。

しかしながら、少子超高齢社会の進展が及ぼすまちづくりへの影響や、人口減少に伴う基礎自治体間の生き残りをかけた競争の激化等、本市を取り巻く状況は一層厳しさを増しております。

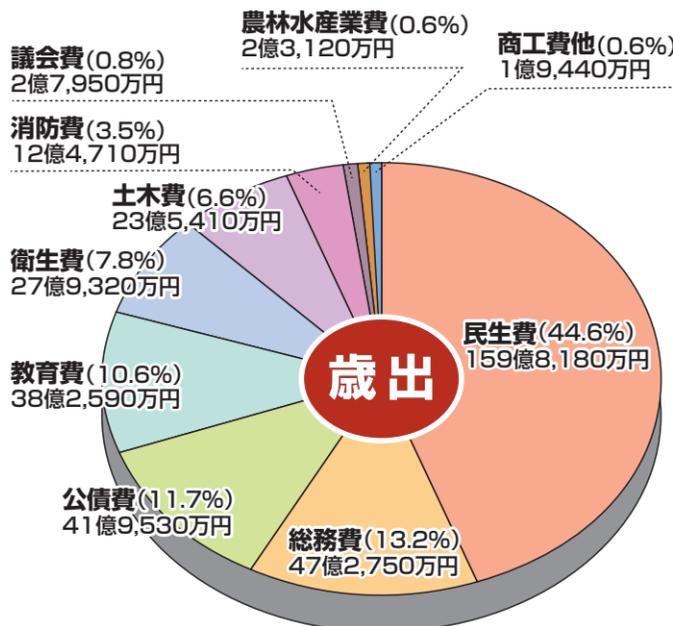
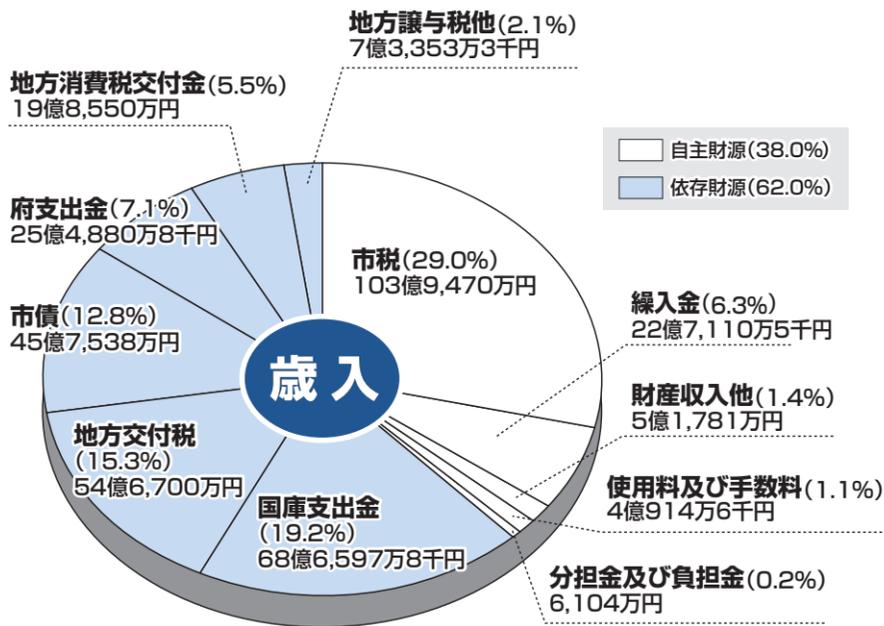
このような中においても、本市が「住む先」「訪れる先」「働く先」として「ずっと、もっと選ばれるまち」へと進化していくためには、人を惹きつける魅力を磨き続ける不断努力が必要と考えております。令和6年度決算の経常収支比率が100%を超えるなど、非常に厳しい財政状況ではございますが、令和8年度においても、要点を見極めたうえでの戦略的かつ積極的な投資が必要と判断し、国の令和7年度補正予算を令和

8年度当初予算と一体化させた「13カ月予算」を編成いたしました。

八幡のまちのよりよい未来を創り、次の世代に受け継いでいくためにも、市民の皆さまのご意見や本市の現状を踏まえ、様々な政策課題に優先順位をつけて取り組み、公約実現に向けた取組を加速化させてまいり所存です。

☎政策企画課 (☎983-1014)

# 令和8年度予算総額 一般会計358億3千万円



一般会計歳入・歳出 358億3千万円

## 前年度比7%増 過去最大規模

令和8年度一般会計の予算総額は、358億3000万円を計上し、前年度より23億3000万円(7.0%)増加し、過去最大規模となりました。

また、特別会計と事業会計を含む全会計の予算総額は、579億577万5000円で、前年度より24億7120万2000円(4.5%)増加しました(右の表)。

歳入は、前年度より市税が2830万円(0.3%)、地方消費税交付金が3億1150万円(18.6%)の増加を見込む一方、歳出は昨年に続き、人件費や扶助費といった義務的経費の増加と賃上げ、物価高騰などの影響により各事業の経費を押し上げた結果、予算規模が大きく膨らむことになりました。

### ◆令和8年度当初予算額

会計名	予算額	前年度比 (▲はマイナス)
一般会計	358億3,000万円	23億3,000万円
特別会計	休日応急診療所	2,750万円 △40万円
	駐車場	1,080万円 △50万円
	国民健康保険	70億4,750万円 △2億9,340万円
	介護保険	71億2,800万円 3億6,210万円
	後期高齢者医療	28億500万円 2億2,880万円
水道事業会計	27億2,048万円	△1億1,118万1千円
下水道事業会計	23億3,649万5千円	△4,421万7千円
計	579億577万5千円	24億7,120万2千円

☎財政課 (☎983-2879)